

会 議 録

1 会議名

第4回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項(公開)

- ・(仮称)頸北の池沼群 自然環境保全地域の指定検討について

(2) 協議事項(公開)

- ・令和2年度柿崎区地域活動支援事業(追加募集分)について
- ・地域の課題についての意見交換

3 開催日時

令和2年7月21日(火) 午後6時から午後8時まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

15人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：貝谷雅子委員、小出祥世委員、小山慶委員、白井一夫委員、武田正教委員、中村誠委員、箕輪明男委員、蓑輪和彦委員、吉井一寛委員、吉村正委員
- ・環境保全課：岩崎晃副課長、村山斉主幹
- ・事務局：柿崎区総合事務所 市川重隆所長、柿村勇次長、保倉政博次長、滝澤陽一産業グループ長、武田勝博建設グループ長、池田佳子市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、春日香織主任、平井伸英主任

8 発言の内容（要旨）

【柿村次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・岩野秀樹委員、薄波清美委員、片桐宏樹委員、片桐充委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。
- ・市環境保全課から（仮称）頸北の池沼群自然環境保全地域の指定検討についての説明があることを報告。

【岩崎副課長】

- ・（仮称）頸北の池沼群自然環境保全地域の指定検討について説明。
- ・委員からの質問はなし。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に小出祥世委員を指名。

【吉井会長】

地域活動支援事業の追加募集額は 205 万 2 千円であるが、今回追加募集で手を挙げた団体の希望額の合計は 277 万 9 千円であり、72 万 7 千円が不足することとなる。1 週間前に副会長と検討した結果、全団体が採択基準である 15 点以上になった場合は、一律 26.16%の割合を減額してはどうかという案を考えた。一律減額すると 205 万 2 千円の予算内で全ての事業を採択できる。なお、事前に団体に確認したところ、26.16%を減額しても何とか事業を進められるという回答を得ている。15 点以上となった団体の希望額が予算額 205 万 2 千円を上回った場合、一律減額をして採択するか、原則通り得点の多いところから希望額を配分し、予算額に達したところで打ち切ることとするか、皆さんの意見を聞きたい。

【武田委員】

減額採択は、悪い案ではないと思うが今までとやり方が違う。過去に採択されなかった団体もあるので、今までと同じように得点の高い団体から順に採択する

方法がよい。

【吉井会長】

他に意見はあるか。

【蓑輪委員】

今回の減額の提案は、柿崎区における採択方針第3条の2項、地域協議会が必要と認めるときは補助金の額を減額することができるという規定に基づいたものとする。問題は、委員が必要と認めるかどうかという点である。

【吉井会長】

そのとおりである。

【蓑輪委員】

これまで、減額して採択された事例はあったか。

【吉井会長】

昨年、減額して採択した事例がある。

今回の提案については、委員全員が減額することに了承した場合には減額採択を行いたいと考えるが、1人でも原則通り得点の高い順から採択する方法がよいとの考えの方がおられれば、原則通りの採択方法で行いたいと考える。よろしいか。

(よいとの声)

【吉井会長】

採択を行う。会長、副会長はこの採択に入らないため、8名での採択となる。原則通り、点数の高い団体から順に採択した方がよいという方は挙手願いたい。

(3名が挙手)

【吉井会長】

原則通りがよいという方が3名おられたので、今回は原則通りの方法で行うこととする。

プレゼンテーションに入る。順番は、資料2の一覧表のとおり行う。それでは、第3回手仕事・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会の皆さんからよろしく願いしたい。

【第3回手仕事・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会】

- ・提案書に基づき説明。
- ・事前の質問について回答。

【柿崎商工会青年部】

- ・ 提案書に基づき説明。
- ・ 事前の質問について回答。

【柿崎観光協会】

- ・ 提案書に基づき説明。
- ・ 事前の質問について回答。

【柿吉 JVC】

- ・ 提案書に基づき説明。
- ・ 事前の質問について回答。

【柿崎恵方巻実行委員会】

- ・ 提案書に基づき説明。
- ・ 事前の質問について回答。

【吉井会長】

5 団体のプレゼンテーションが終了した。委員の中で、全体を通じて何か質問があればお願いしたい。

【小出委員】

今回追加募集になったというのはどういった理由なのか、各団体から聞きたい。

【手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会】

当初 NPO 基金と労金の補助制度に応募をしたが、今年度は採用されなかったため、追加募集に応募した。

【柿崎商工会青年部】

当初は、駅前など小規模でのイルミネーションの企画を検討していたが、追加募集の情報を聞き、柿崎の観光アピールを兼ねて坂田池を活用した企画を提案することとした。

【柿崎観光協会】

当初は、観光協会の予算内でできる範囲の対応をしようと考えていたが、追加募集の情報を得て、ぜひ補助金を活用したいと考え応募した。

【柿吉 JVC】

来年度に応募しようと考えていたが、一刻も早く子どもたちの練習環境を整えたいという思いから追加募集に手を挙げた。

【柿崎恵方巻実行委員会】

数年前から企画をしていたが、遠慮していた。予算が余り追加募集を行うという情報が入ったため、手を挙げた。

【吉井会長】

それでは、これから採点の時間を設ける。事務局から説明願いたい。

【春日主任】

- ・採点について説明。
- ・採点票の集計作業後、本日中に採択を行うことを説明。

(各委員で採点を行い、採点票を提出。)

【吉井会長】

これから事務局で集計作業を行う。その間、柿崎区内の地域の課題について意見交換を行う。一人ずつ提案いただきたい。

【箕輪委員】

三ツ屋浜地域でいくつかのサークル活動が行われているが、このような活動を活性化し、活動の場を広げていけるような体制づくりを進めたい。

【中村委員】

地域全体で活性化が進んでおらず、それを打開しようとする動きが見えてこない。リーダーシップをとっていく人材を育てたい。

【武田委員】

各団体の活動の活性化や、柿崎の観光資源である米山及び米山薬師の周知が必要と考える。また、前回の地域協議会で協議していたことを継続していく必要がある。

【小山委員】

小学生と、最近生まれた子どもがいる親として、子どもの減少や小学校の統合の問題についての協議が必要と思われる。

【小出委員】

前回、市に提案した公共交通の問題は、引き続き取り組むべきだと考える。また、柿崎駅の階段の上り下りが大変だという声を聞く中で、公共交通機関をいかに利用しやすくするかも課題である。

【貝谷委員】

災害が起きた場合、地域自体が高齢化していく中で、どれくらい助け合えるかが課題と考える。

【蓑輪委員】

様々な地域の問題があるが、根本は少子高齢化が原因となっている。その中で、生活をするうえで最低限必要な公共施設の維持継続は必要な課題であり、特に柿崎病院、久比岐高校の統廃合など学校関係の問題は避けて通れないと考える。

【吉村委員】

人口減少が止まらないことがすべての根源と考える。黒川黒岩地域で活動を行っている団体もあるが、事業の規模が小さいと思う。より規模を大きくするには、お金や周知も必要となるため、市として支援できないかと考える。また、道の駅が柿崎区内にない。実現できればよい観光資源になる。さらに、米山の林道について、せっかくなら林道として山頂まで行けるようにするなど魅力ある柿崎を演出できないかと考える。

【吉井会長】

今回の意見をまとめて、来月の地域協議会からテーマを絞り込み、委員会の立ち上げにつなげていきたい。先月の地域協議会でも提案したところであるが、9月に団体との懇談会を実施したいと考えている。次回の地域協議会で、今回出された意見のまとめと、9月に行う懇談会の案を提案したい。以上で意見交換を終了する。

(事務局による集計が完了し、審査結果集計表を各委員に配布)

【吉井会長】

審査結果集計表が配布された。会議の冒頭で決定した通り、得点の高い順から採択を行う。1番「坂田池園地桜植替え事業」について、共通審査の基準の評点が21.833点。補助希望額は89万1千円。89万1千円で採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員が挙手)

【吉井会長】

89万1千円で採択する。

続いて、2番「Happiness (ハピネス) イルミネーション～柿崎の皆さんに幸福と幸せと喜びを～」について、共通審査基準の評点が20.917点。補助希望額が100

万円。100 万円で採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員が挙手)

【吉井会長】

100 万円で採択する。

続いて、3 番「第 3 回手しごと手づくり柿崎・上越作品展」について、共通審査基準の評点が 20.769 点。補助希望額が 10 万円。10 万円で採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員が挙手)

【吉井会長】

10 万円で採択する。今の段階で残額が 6 万 1 千円となる。4 番「ジュニアバレーボール活性化事業」については共通審査基準の評点が 18.385 点。補助希望額が 39 万 3 千円に対して、予算の残額が 6 万 1 千円である。この金額で事業団体が事業を行うということに決定すると、採択は終了となる。柿吉 JVC が受けたいということであれば、6 万 1 千円で採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員が挙手)

【吉井会長】

それでは、柿吉 JVC の皆さん、これを受けるか受けられないかということを決めていただきたい。どうされるか。

【柿吉 JVC】

この金額で事業を実施したいのでよろしく願いたい。

【吉井会長】

それでは、6 万 1 千円の範囲で事業を行うということで、今回の支援事業の採択が終了となった。柿崎キャラクターズ誕生とユーチューブでの紙芝居動画配信事業については、残念ながら採択できなかったが、今後も地域活性化のために尽力いただきたい。

続いて、その他に入る。事務局からその他について説明をお願いしたい。

【春日主任】

その他について、特に報告事項及び協議事項はない。次回の地域協議会の開催について確認願いたい。

【吉井会長】

次回会議は、8月18日午後6時から同じ会場で行う。地域の課題、9月の団体との懇談会に向けた協議を行う。他になければこれで終了する。

【白井副会長】

- ・ 地域協議会の閉会を宣言。

(午後8時閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。